

その他の卸売業における荷姿の物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	13~14	倉庫内で酒のパレットを降ろすときに樽とパレットの間に手を挟んで潰した。	59	30~49
1	11~12	倉庫内にて部材類の整理中、在庫の太陽光パネルを移動させるため、持ち上げる際、少しかがんだ体勢から持ち上げようとした瞬間に痛みを襲われた。	31	30~49
1	11~12	店内にて、商品やサンプル等が入ったオリコン梱（1梱につき重さ約15kg~20kg、3段重ね）をお客様との対応のたびに上げ下ろしを4回行ったあと、腰の右側に大きな痛みを感じた。当日は最後まで仕事を続けたが、腰の痛みが増し、第12胸椎圧迫骨折であると分かった。	61	—
2	9~10	当社の野菜パッケージ作業場にて、キュウリの袋詰め作業中に、ダンボール箱（5kg×2個）を両手で中腰になり、持ち上げてパレットに置いた時に腰に痛みを感じた。	65	30~49
2	15~16	構内パレット保管場所でパレット整理作業中、立て掛けていたパレットが倒れ右足甲部が下敷きになった。	56	50~99
2	14~15	事業所内に於いて、自動車部品の梱包作業中、梱包した段ボール（約30kg）を持ち上げ方向転換した際軸足とした左足を痛めた。	35	1~9
2	15~16	スーパーマーケットへの配送営業中バックヤード棚に包装資材を設置作業中30cm程度の高さの踏台から飛び降りる際、足に異常を感じ、病院に診療のため行った。医師の判断で手術の必要性を納得し、時を待った。会社の自分の仕事には若干の痛さを覚えるが作業に気がつけた。	40	1~9
2	9~10	倉庫内で発泡スチロール箱の積み上げ作業中に、箱が落下しそうになったので、両手で支えた時、製品梱包の縛り口に右手小指が挟まって、脱臼し、靭帯を損傷	57	30~

		した。		49
2	10~11	100枚包装されたチラシをひっくり返す時にチラシが右手薬指に落ちて、靭帯損傷し指が変形し手術が必要になった。	69	—
2	11~12	倉庫内で商品の出荷準備中、棚上段奥の商品を取り出荷用コンテナに入れていたところ、棚上段手前の商品が押し出され、ダンボールごと、作業をしている後ろ向きの後頭部に落下してきた。	35	30~ 49
3	14~15	家庭紙選別場にて、男性作業員Aが1箱20~30の選別品が入った書類箱5段積40箱のパレットをフォークリフトにて移動中、リフトの片輪が選別品に乗り上げてしまい荷物が崩れ、近くで選別作業をしていた作業員に大声で知らせたが、逃げ切れず右足に荷物がのしかかった。	55	10~ 29
3	10~11	当社3Fピッキング作業場において、空オリコンの組み立て作業をピッキングカート検品台の上で実施中に、1枚目のオリコンを移動させた際に重ねていた2枚目のオリコンに引っかかり、空オリコンが左足に落下した。	45	100 ~ 299
3	19~20	資材置き場で、リサイクル用圧縮ラップ（重量約30kg、外寸60×60×100cm）を手作業での積上作業中に、地上約150cmの3段目に積み上げているところで当該圧縮ラップが倒れそうになり、それを支えようとして咄嗟に右手を差し出したとき、右手小指を負傷した。	45	1~9
3	8~9	社内の庫内にて配送車両に医薬品の荷物を積み込み、ギックリ腰のようになり腰を痛めた。	48	100 ~ 299
3	14~15	車両用製品保管倉庫内において、2Fに置いてある車輛用ヒーター（縦50cm×横50cm×高さ70cm、重量33kg）を1Fに降ろすために、2段に積まれた上の製品を持ち下のハンドリフト上に降ろした時に、腰に痛みと違和感を感じたがそのまま作業を続行した。翌日、痛みで動けない状態となった。通常、この作業は2人で行うものだが、相手が休んでいたため1人で作業をしてしまった。	49	10~ 29
3	9~10	作業場で新人の実習生にトラックへ製品を積み込む作業を教えている時、誤って左手小指を製品（15kg位の冷凍小魚）ではさんで負傷した。	20	10~ 29

3	7~8	荷受場でトラックからプラットホームに荷卸し作業をしているときに、トラック荷台とプラットホームに段差があるためスロープを使ってカゴ車を降す作業をしていたところ、カゴ車が倒れ作業者の顔に当たり、鼻骨を骨折した。	40	10~ 29
4	15~ 16	自社倉庫内で荷くずれした肥料の片付け作業中、停止したフォークリフトに積載した肥料が荷くずれをして、被災者に肥料が落下してしまった。肥料を巻いていたラップの強度が不足していて、これに気付いて他の社員3名とともに肥料を押さえていたが被災者が下敷きになった。	18	10~ 29
4	16~ 17	倉庫内で出荷作業をしている時に、ダンボールで梱包した商品を床に置き立ち上がった後、他の作業者に荷物をその場に置いた旨を伝えようとしたところ、荷物に対しての注意が欠け、躓いて転倒し、左膝打撲及び右手首亀裂骨折を負った。	52	—
4	10~ 11	3階給湯室にて清掃中、サーバータンクの水を交換中、1人で作業し前に屈んだ時に負傷した。	27	100 ~ 299
4	12~ 13	荷後作業に従事中、作業終了間際に当事者が他1名とともに飼料用魚の容器（縦170cm×横123cm×高さ73cm、空重量80kg）を選別機コンベアーまで2メートル程牽引して移動中に、肩に異常を感じた。	79	100 ~ 299
4	13~ 14	駐車場にて納品のため商品を冷凍車の横ドアから荷降ろし中、雨が降っていたため手を滑らせて転倒し、後頭部をぶつけた。脳と骨に異常はなく、ただの打撲とのことだったが、左肩に多少の痛みがあり、後日に左肩腱板断裂と判明した。	42	10~ 29
5	15~ 16	当社敷地内ストックヤードにおいて高い場所にある資材を本来はフォークリフトでパレットごと降ろして作業する取り決めにもかかわらず、自ら登って体勢を崩し地面に落下し受傷した。	61	1~9
5	16~ 17	当社倉庫内において、ホイスにて鉄パイプ4本（長さ5.5m）を吊り上げ移動中、パイプの先が地面に着いてしまい、吊り上げていたパイプがずれたため、被災者が支えた際にパイプとパイプの間に左手薬指を挟んだ。	43	10~ 29
5	0~1	数年前より腰痛の報告があり、担当業務（自動倉庫ケース出荷返品作業でのパレット準備）の変更を検討していたが、本人の意向もあり継続していた。今回も	55	500 ~

		数週間前より痛みがあったが、被災後に痛みが酷くて起き上がれなくなり、腰椎椎間板ヘルニアとなった。		999
6	10～ 11	出荷作業中に、パレットに乗り、パレットの破損箇所です足を踏み外して転倒し、左足を打ち、擦り傷を負った。	49	100 ～ 299
6	11～ 12	社内職場にて、キャスター付の台座の上に重ねて保管している空の容器を取ろうとした際に、積んでいた空き容器のバランスが崩れ、左足の上に落下し、負傷したものである。	57	100 ～ 299
6	9～ 10	配達に行き、豚肉等の入ったケース（幅57cm×高さ30cm×奥行36cm、重量約17kg）を持ち上げたところ、腰部に激しい痛みがはしり、歩行困難となったものである。	28	100 ～ 299
6	17～ 18	工場内にて、鉄板3枚（5×20）を玉掛けし、地切の際に荷振れを起こし、後ろにある鉄板と吊荷に右足を挟まれて負傷した。	64	50～ 99
7	16～17	就業時間中に、店舗にあるプレハブの冷凍庫内にて月末の商品棚卸しの作業中に、高く積み上がっていたダンボールの山が崩れ、10kg相当の箱が落下し、首のあたりに直撃した。	50	10～ 29
7	13～14	商品がある倉庫にて、飲料のダンボール1箱24入の商品を持ち上げ、台車へ移動する作業中、右肩、うでに負担がかかり、違和感を抱き、その後痛みを強く感じる。その後、痛みがとれず、肩腱板断裂と診断された。以前からの就労と、あまり経験のない、荷物の移動も影響したものとする。	47	30～ 49
7	16～17	社内倉庫で高さが150cmの空ダンボールの上部に右手をかけ、左手をダンボール中ほどに添えて倉庫の隅に押しやろうとしたとき、体のバランスをくずした拍子に、段ボールが倒れ右腕を持っていかれ関節がはずれて激痛がした。間もなく戻ったので、痛みはあったが様子を見ていたところ、後日制服を着用しようとして右肩を上げたところ再び外れ激痛がした。（3ヶ月程度商品荷受を控える必要がある）	53	10～ 29
7	11～12	倉庫にて、入荷してきた商品の積み荷が、パレットからずれてはみ出していたの	69	1～9

		で直そうと荷を押した際左足アキレス腱を負傷する。		
7	16~17	本社工場内で玉葱約20kgが入っているコンテナを手で持ち運んでいる際に手を滑らせ、足の上に落とした。履いていた靴がベトナム製で生地が非常に薄く、コンテナの角で右足親指を裂傷した。	25	10~ 29
7	8~9	納品先の中央病院食品検収室にて納品ケース（385×565×110）を両手にて抱え移動していた際、床に置いてあった野菜ケース（500×700×500）に左足を躓き、前方のコンクリート壁に正面よりぶつかり、顔面（鼻）を強打し、そのまま前方に転倒した際に左膝を床に強打し、同左膝を受傷した。	66	30~ 49
7	11~ 12	得意先へ直送したタイヤの受入れをしていた際、積み上げた一番上のタイヤが崩れそうになった為、周囲に積み上げていたタイヤに上り崩れを直そうとした際、バランスを崩しタイヤと一緒に落下した。右肘の複雑骨折と診断された。	63	1~9
7	16~ 17	営業所内のプラットホーム付近で、上段にある商品をフォークリフトと踏み台を使わずに商品を取ったため、商品が落下し、コンテナと商品の間で手を挟まれた。	54	50~ 99
7	9~ 10	物流センター内、作業場のデスクで出荷表の確認をし、別デスク（パソコン用）に移動する際、腰にギクリと違和感が生じた。その後、当日の出荷準備をするため、中腰で商品が入ったパッキンを移動し、商品の振り分けをしているときに、腰の痛みがひどくなり自立歩行が困難になった。	39	10~ 29
7	17~ 18	事業所敷地内の充填室前で、ハロン化物消化設備放出試験用テストボンベの排圧作業を行っているときに、ボンベの上部と下部を職員2人で支えながら、手動起動装置で操作していたところ、排圧の圧力で支えきれなくなったボンベが倒れて、下部で支えていた職員の頭部をかすめるように接触して負傷した。	24	10~ 29
7	9~ 10	商品納品先の駐車場にて、納品するビール樽をトラックの荷台より降ろす際に、二段積みになっていた上部の樽を取り損ね、右足に落下し負傷した。	28	100 ~ 299
9	11~ 12	豚肉を2人で持った際、持ち手の角度が悪く手首の捻挫した。（ひねったのではなく、持ち上げたときに持ち方が悪かったためいためた）	47	10~ 29

9	9~ 10	納品先の厨房で、商品の入ったプラスチックコンテナを手で持ちながら納品中に、足元に置いてあった箱のような物につまずき、プラスチックコンテナを持ちながら、そのまま、左肩から転倒した。	42	100 ~ 299
9	8~9	商品仕分け等業務を行っている際、右足膝関節部に激痛が走り、歩行がしづらくなった。所見から膝軟骨の摩耗によるものと思慮、経年の同部位使用による損傷と思われる。	51	30~ 49
9	7~8	新聞専売所にて、狭い場所で左側の荷物（10キロ程度の新聞の束）を、右手側の台車に乗せようとしたところ、腰がビリッとなり動けなくなった。	42	10~ 29
9	15~ 16	弊社の倉庫で、切断完了した鋼材の束を出荷の為、一カ所にまとめていた鋼材の束に玉掛けを行い、クレーンで切断機より置場に移動した後、ワイヤーロープを回収する為に、片方のヘビ口をはずし、もう片方をクレーンで巻き上げて引き抜こうとしたが、下ろした時にワイヤーロープが盤木（まくら）と鋼材にはさまっているのに気がつかないままクレーンを巻き上げ続けた結果、束が被災者の方へ落下した。	49	1~9
9	11~ 12	当社の危険物倉庫内で奥のドラム缶を取り出す為、手前のドラム缶を動かすスペースを作ろうとしていた時に、ドラム缶とドラム缶で指を挟んだ。	37	—
9	7~8	トラックに積み込んでいた生餌（15kg）を荷下ろしする際、重ねている生餌と生餌の間に左手薬指を挟んでしまい骨折した。	46	10~ 29
9	6~7	客先（スーパー）の搬入口にトラックを付け、右足をトラックの荷台に、左足をトラックの荷台より50センチ程高いバックヤードのプラットホームに置き、不自然な姿勢のまま、商品（氷水と水産物を入れた発泡スチロール箱、重量約15kg/個）を持って、右から左へ腰をひねりながら、荷降ろしをしていたところ、腰部に激痛が走ったものである。	44	50~ 99
10	12~ 13	本店で新聞の仕分け作業中に、新聞束を中腰などで上げ下ろし、腰に負荷がかかる状態で、腰椎椎間板ヘルニアを発症。	30	1~9
	11~	被災者はカーペットの切り出し作業をしていた。注文を受けた数量をカットするため30m巻ロールカーペットを床に引き伸ばしていたが、9m位の所で重さでそ		50~

10	12	れ以上引き伸ばせなくなった。ロール本体を回そうとカーペットの側面を通り、ロールに近づいている時につまずき、頭からロールカーペットに激突し頸髄を損傷した。	54	99
10	12～ 13	百貨店のストック置場で入荷品の入庫作業をしている時、マットレス（100cm×45cm×60cm6kg）を高さ約1mのダンボール箱の上に持ちあげ入庫する際左膝に激痛を感じた。	55	1000 ～ 9999
10	10～ 11	当社敷地内における上記派遣労働者の、商品のトラックへの積み込み作業中の被災。トラックの荷台で、商品（人参が満載された段ボールで、重さ約10kg）をトラックに積み込んでいた際、高く積んだ商品（荷台床からの高さが約130cm程）が安定が少し悪かったために倒れてきて左足首のくるぶしの辺りに商品が直撃し、その衝撃で骨折したもの。	45	30～ 49
11	11～ 12	住宅地内の建設現場にて警備を行っていたが、就業場所には売店等が無かった為、昼休憩時に昼食を買うためコンビニに向かおうと思い、移動時間に25分程かかるので小走りで向かった。その際に、レンガ造りの歩道の段差に足を取られ頭から転倒し、眼鏡をかけていたのもあり、顔面・右手を負傷被災した。昼食購入について上司からの指示は無く、他に昼食を購入できる場所も把握していなかった。	34	500 ～ 999
11	13～ 14	給食会議に出席するため保育園に行き園内駐車場に駐車し車を降り園に向かう際、足を滑らせ尻を地面に強打した。	44	10～ 29
11	11～ 12	作業場で出荷の際に商品を作業台の上に置く時にまとめて持ち上げた為、肩に負荷がかかり「ズキン」と痛みが走った。そのまま仕事を続けていたが、日に日に痛みが広がり、両腕の筋が張る様になり、痛みが生じる様になった。そのうち治ると思い様子を見ていたが、痛みが続く為、休日に受診し通院することになった。	53	10～ 29
11	10～ 11	会社（店舗内）で街展用のミシンを片付けようと車から運搬して所定の場所に戻す作業をしている時に、腰が立たなくなり激痛が走った。	50	1～9
11	11～ 12	食品冷凍庫内において商品の出荷準備作業をしている時に、マイナス20℃の環境において左手中指に凍傷が発生した。	71	50～ 99

11	11~ 12	被災労働者は、鶏卵が入った10kgダンボール箱を、営業車両の荷台からカゴ車へ移す作業を行っていた。ダンボール箱を2箱ずつ（計20kg）運んでおり、箱を持ちカゴ車へ降ろす際に作業体勢が中腰であったこともあり腰に激痛がはしった。	38	1~9
11	15~ 16	会社敷地内で物流出荷作業中に商品を出荷する為に、荷物の準備作業中に箱を積み重ね中に5段目の荷物を上げる時に、積み上げが不十分だった為に荷物が落下して顔面に当たり右目を負傷した。	28	30~ 49
12	12~13	工場冷蔵庫内で、コンテナの中身を確認する際、いつもは上段のコンテナを降ろし作業しているが、今回は玉ねぎの入った5段積コンテナの5段目を左手で持ち上げ、5・4段の間から右手で玉ねぎの大きさを探っていたところ、左手が滑り、コンテナが落下し、右手首が挟まり受傷した。	69	30~ 49
12	11~12	当社内に於いて、玄関の下駄箱の清掃をするため、大きなバケツ（15?）に水を汲み、左手で勢いよく持ち上げたとき、背中の上の方がぎくっとなり痛みが起きた。尚、右手にも小さなバケツを持っていた。	70	30~ 49
12	17~18	当社ヤード（古物の集積場）にて、トラックの荷台（平ボディの鉄板の上）で、鉄くず等金属古物を降ろす作業中に、古物が誤って落下し、右母趾を基節骨折した。	53	10~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html